



L12next Control

for iPadOS
Version 1.0

オペレーションマニュアル



© 2025 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

白黒端末では正しく表示できません。

目次

はじめに	3
著作権について	3
L12next Controlをインストールする	4
L12nextとペアリング(接続)を行う	5
操作画面について	6
画面の構成	6
他画面の表示・切り替え	6
インプットチャンネル	7
チャンネルストリップ	7
エフェクト	8
シーン	8
パラメトリックイコライザー (P-EQ)	8
マスターセクション	9
レコーダーパネル	9
ミックスバランスをコントロールする	10
マスターチャンネルのミキシングをする	10
チャンネルストリップでパラメーターなどを調節する	12
エフェクトを使用する	16
エフェクトを選択・調節する	17
パラメトリックイコライザー (P-EQ)を使用する	18
録音する	19
録音のセットアップ	19
録音する	19
再生する	20
オーバーダビングモードを使用する	21
シーンを使用する	23
シーンを保存する(SAVE)	23
シーンを呼び出す(RECALL)	24
MONITOR OUT A-Eのミックスバランスを調節する	25
ミックスバランスをコピーする	25
複数のiPadからL12nextを操作する	26

はじめに

L12next Controlは、ZOOM LiveTrak L12next専用のリモートコントロールアプリケーションです。

iPad上で、L12nextの録音／再生などの操作や、ミキサーの調節を行うことができます。なお、本書では、L12next本体の操作についての説明はしていません。各機能の詳しい内容については、「オペレーションマニュアル」を確認してください。

著作権について

iPadは、Apple Inc.の商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Bluetooth[®]のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社ズームはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

他の者が著作権を保有するCD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ズームは一切の責任を負いません。

文中のイラストおよび表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

本書の内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

L12next Controlをインストールする

1. iPadでApp Storeを起動し、「L12next Control」を検索する
2. L12next Controlのアプリ詳細画面で「入手」をタップする
L12next Controlがインストールされます。



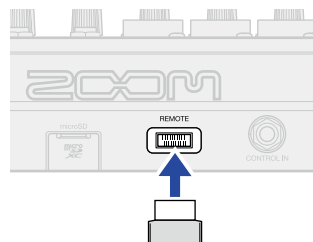
MEMO

L12next Controlを使用する際は、L12next本体のファームウェアとL12next Controlは最新のバージョンを使用してください。

L12nextとペアリング(接続)を行う

MEMO

- ・L12nextをiPadからリモートコントロールするには、L12next本体に別売のZOOM専用無線アダプター (BTA-1 など)を取り付ける必要があります。見通しのよい室内でBTA-1を使用する場合、最大10 mまで通信できます。L12next本体の電源をOFFにした状態で、背面のREMOTE端子にBTA-1を取り付けてください。



1. L12next本体の電源を入れる

2. L12next Controlのアイコンをタップする

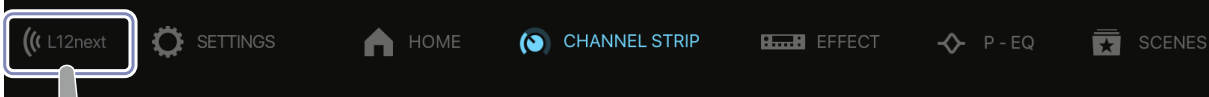
L12next Controlが起動します。

起動時にBluetooth MIDI機器リストが表示されます。

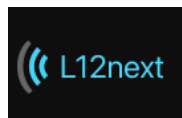
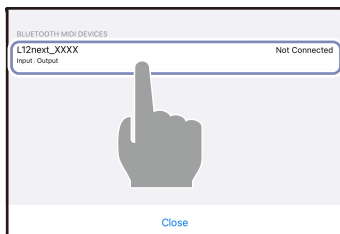
Bluetooth MIDI機器リストが開かない場合は、ツールバーの[L12next]をタップします。



15:31 11月4日(火)



3. [L12next_XXXX]をタップして接続する



L12next ControlがL12nextに接続されると、ツールバーのL12nextアイコンが青色に点灯し、Bluetooth接続が完了します。点灯している扇マークの数はBluetoothの電波の強さを表しています。

MEMO

ペアリングがうまくいかない場合、以下をお試しください。

- ・iPadとL12next本体との距離を近づける
- ・電波をさえぎるものがない場所に、iPadとL12next本体を移動させる
- ・iPadのBluetooth機能が有効になっているか確認する

操作画面について

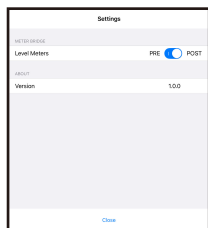
● 画面の構成



● 他画面の表示・切り替え

ツールバーのアイコンをタップすると、他の画面を表示・切り替えができます。

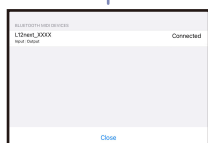
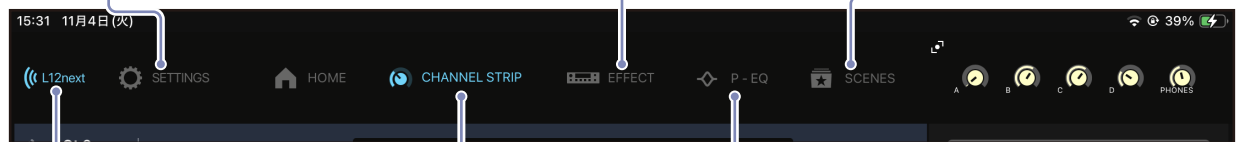
セッティング画面



エフェクト



シーン



Bluetooth ペアリング画面

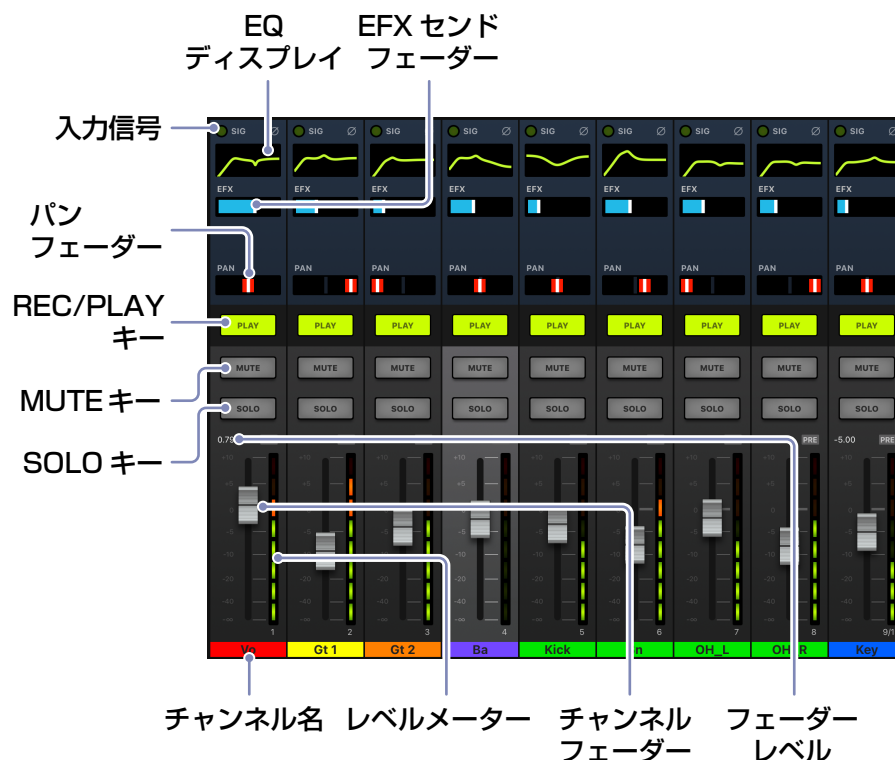


チャンネルストリップ



パラメトリックイコライザー (P-EQ)

● インプットチャンネル



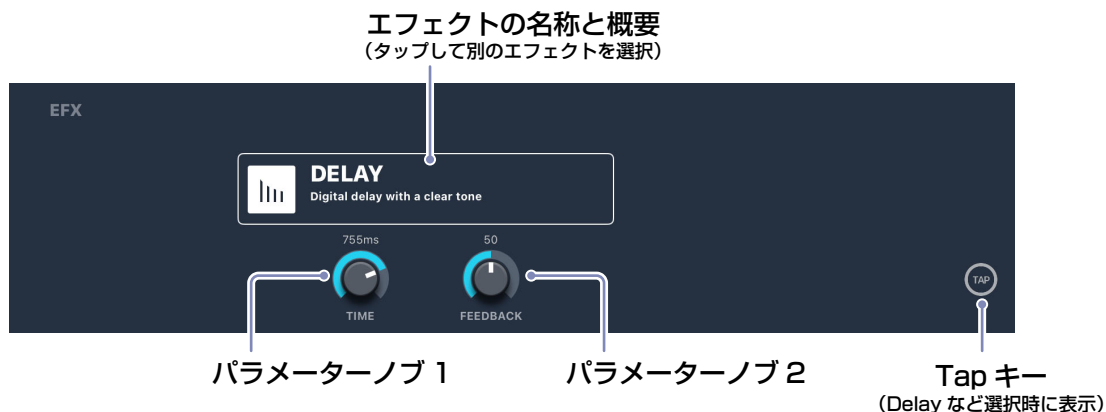
● チャンネルストリップ

チャンネルストリップ画面では、選択したチャンネルの設定を表示し、各画面でパラメーターを細かく調節できます。表示される項目には、チャンネル名、チャンネルカラー、Pan、Phase、さらに GAIN、COMP、EQ LowCut、EQ Low、EQ MID Gain、EQ MID FREQ、EQ High、EFX Sendのレベルがあります。



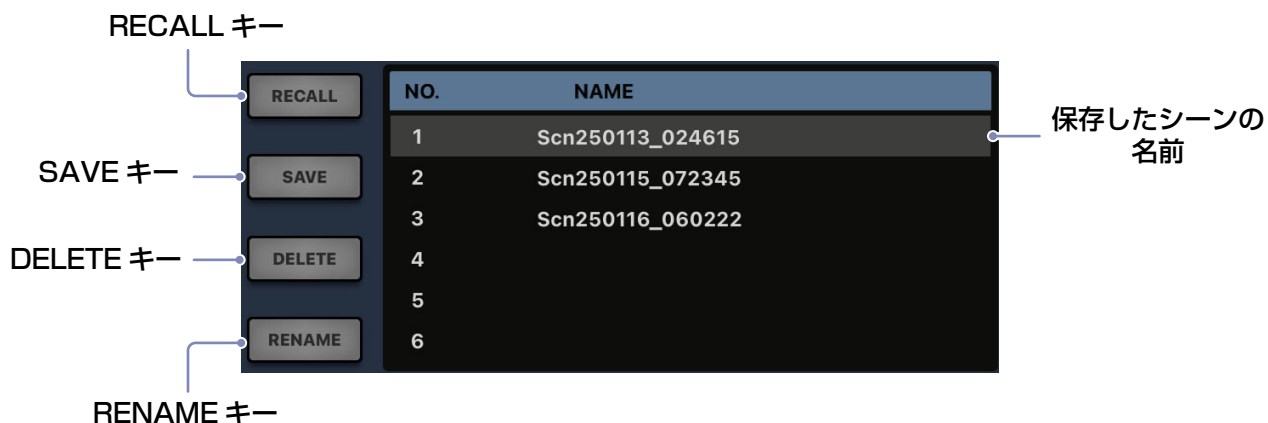
エフェクト

エフェクト画面では、選択中のエフェクトの確認や変更、各パラメーターの調節ができます。



シーン

調整したミキサーの設定をシーンとして保存できます。保存したシーンは呼び出すことができます。



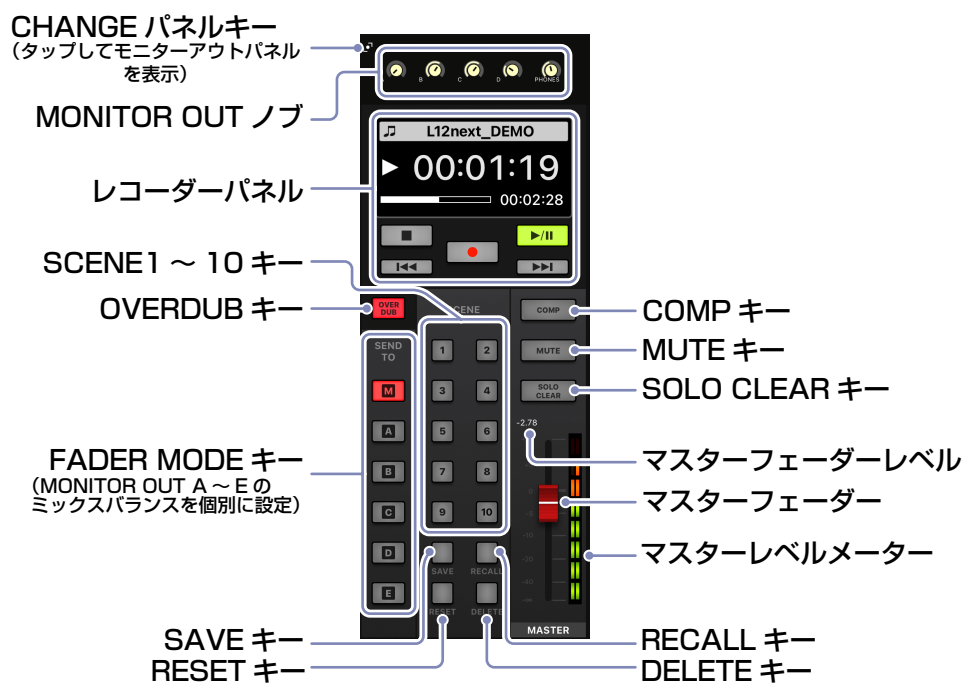
パラメトリックイコライザー (P-EQ)

パラメトリックイコライザー (P-EQ)画面では、MASTER OUTのトーンを調節できます。パラメトリックイコライザー (P-EQ)は、L12next Controlからのみ設定できます。

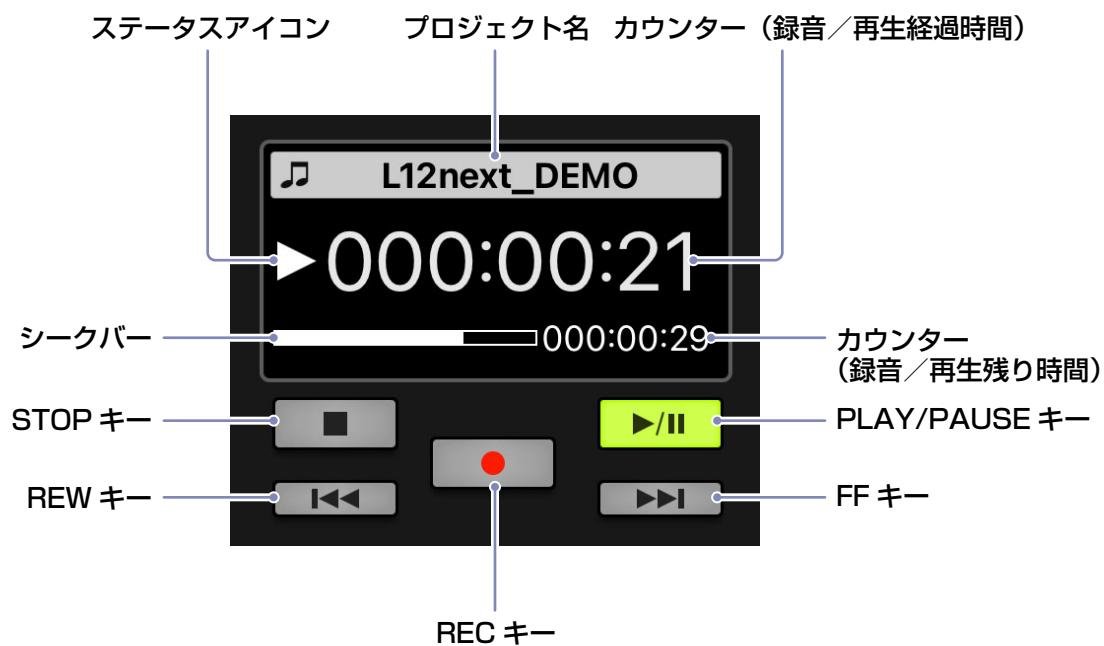
パラメトリック EQ
ON/OFF
(タップして ON/OFF を切替)



● マスターセクション

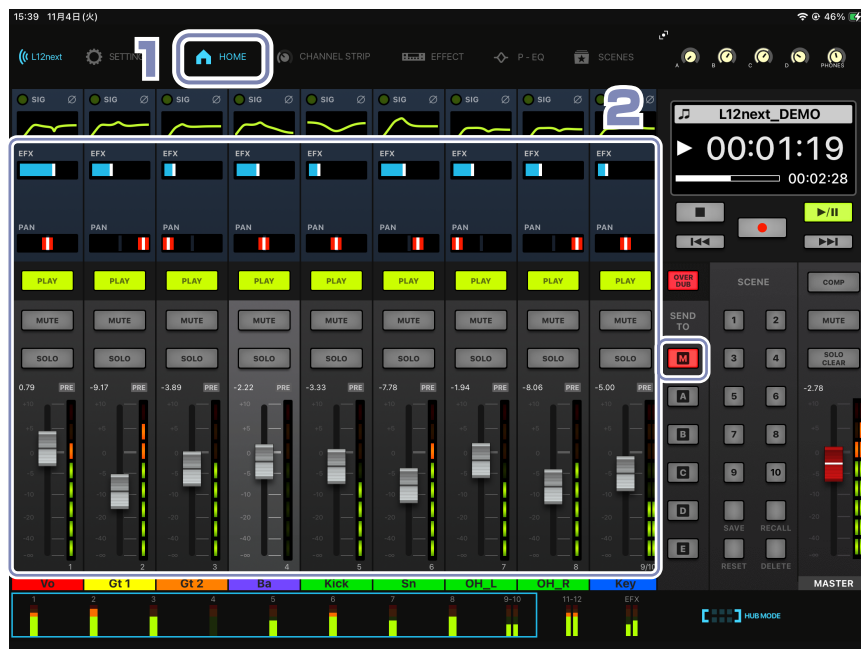


● レコーダーパネル



ミックスバランスをコントロールする

● マスターチャンネルのミキシングをする



1.  HOME をタップする

2. パラメーターの設定を調節する

■パンフェーダーを操作する

パンフェーダーを左右にドラッグすると値を変更できます。



MEMO

・ フェーダーをダブルタップすると、設定値を初期化できます。

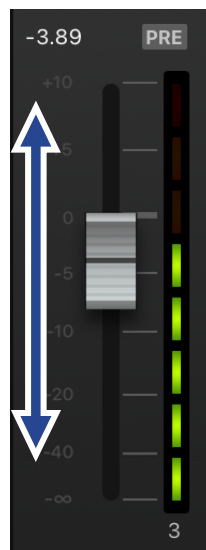
■EFXセンドフェーダーを操作する

EFXセンドフェーダーを左右にドラッグすると値を変更できます。



■チャンネルフェーダーを操作する

チャンネルフェーダーを上下にドラッグすると値を変更できます。



MEMO

- ・ 微調節するには、フェーダーキャップをタップして指を左右にスライドさせてから上下にスライドさせます。

● チャンネルストリップでパラメーターなどを調節する



1. 調節するチャンネルをタップする

2. ツールバーの をタップする

チャンネルストリップがチャンネルの上に表示されます。

■チャンネルストリップのノブを操作する

調節するノブを左右(または上下に)スライドすると値を変更できます。調節中はパラメーターのポップアップが表示されます。



MEMO

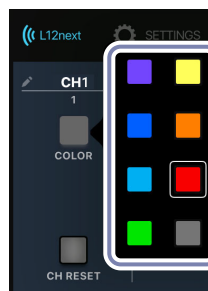
- ・チャンネルをタップすると、値を調節したいチャンネルを変更できます。

■チャンネルカラーを変更する

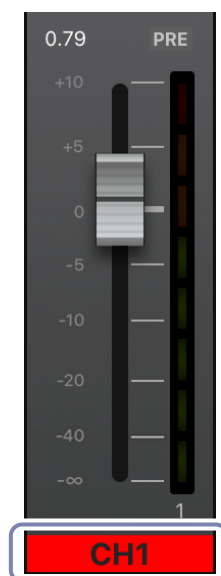
1. COLORキーをタップする



2. ポップアップからカラーを選択する

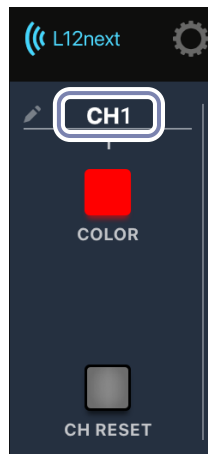


3. チャンネル名のラベルが変更されていることを確認する



■チャンネル名を変更する

1. チャンネル名をタップする



2. 表示されたキーボードで名前を入力し、Enterキーをタップする



MEMO

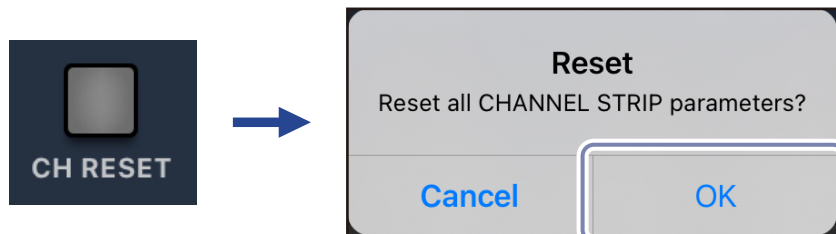
- ・チャンネル名の最大文字数は8文字です。
- ・チャンネル名に使用できる文字は以下のとおりです。
(スペース) !#\$%& (') +,-.0123456789;=@ABCDEFGHIJKLMN O P Q R S T U V W X Y Z
[]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{ }

3. チャンネル名が変更されたことを確認する



■すべてのチャンネル設定を初期化する

CH RESETキーをタップして、確認画面で[OK]をタップします。



● エフェクトを使用する



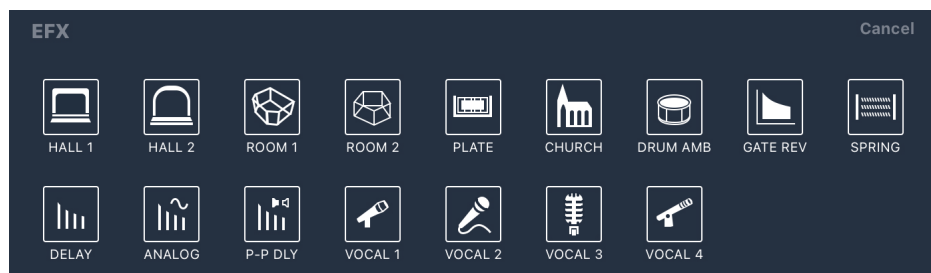
1. エフェクトをかけたいチャンネルをタップする
2. EFXセンドフェーダーで、センドレベルを調節する
3. EFX RTNフェーダーを上下にドラッグして、音量を調節する

● エフェクトを選択・調節する

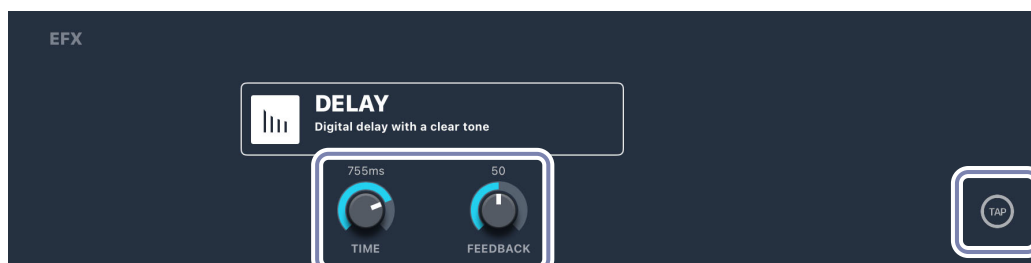
1. ツールバーの  EFFECT キーをタップする
2. 現在選択されているエフェクト名をタップする
エフェクト選択画面が表示されます。



3. 選択するエフェクトのアイコンをタップする
エフェクトが変更され、選択画面が閉じます。



4. パラメーターノブをスライドやタップをして、エフェクトのパラメーターを調節する

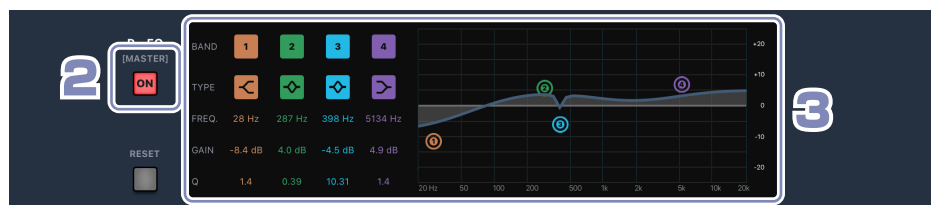


● パラメトリックイコライザー (P-EQ) を使用する

パラメトリックEQでは、MASTER OUTのトーンを調節できます。

パラメトリックEQは、L12next Controlのみ設定できます。

パラメトリックEQの設定は、L12nextに保存されます。



1. ツールバーの P-EQ キーをタップする

2. をタップしてパラメトリックEQをオンにする

3. 周波数を調節する

- [Band]の[1]～[4]のキーをタップすると、各周波数帯の設定をON/OFFします。
- 周波数のグラフィックを上下左右にスライドさせて、ゲインや周波数帯を調節します。
- [FREQ.]や[GAIN]の数値をタップしたまま上下左右にスライドさせても、ゲインや周波数帯を調節できます。

MEMO



をタップすると全パラメータがリセットされます。

録音する

● 録音のセットアップ

録音を行うには、まずL12next本体で以下の設定を行います。

- 録音フォーマットの設定
- 機器の接続、配線
- メトロノームの設定

セットアップが完了したら、L12next Controlを使用して、以下の操作ができます。

- L12nextの録音設定を確認する
- インプットゲイン、コンプレッサーレベルの調節
- チャンネルを録音／再生する
- チャンネルレベル、エフェクトを設定する
- テンポを設定する
- トランスポートを開始／停止する
- オーバーダビングを行う

● 録音する

1. レコーダーパネルの  をタップして、録音を開始する



2.  をタップして録音を終了する



再生する

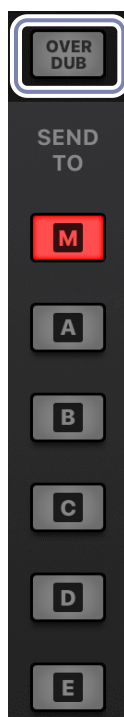
1. レコーダーパネルの  をタップする



オーバードビングモードを使用する

すでに録音されている音を再生しながら、別の音を録音することができます。

1. をタップして赤色に点灯させる



2. 録音するチャンネルの[REC]/[PLAY]キーをタップして、赤色に点灯させる

- 緑色：トラックを再生します。
- 消灯：録音/再生を行いません。



3. レコーダーパネルの  をタップして、録音を開始する



4.  をタップして録音を終了する



シーンを使用する

● シーンを保存する(SAVE)



1. をタップする

 ～  のキーは、シーンが保存済みの場合は点灯し、未保存の場合は点滅します。
シーンを保存しない場合は、もう一度  をタップします。

2. 保存先の ～ の番号のキーをタップする

● シーンを呼び出す(RECALL)



1. をタップする

 ～  キーは、シーンが保存済みの場合は点滅し、未保存の場合は消灯します。

シーンを呼び出さない場合は、もう一度  をタップします。

2. 呼び出すシーンのキーをタップする

選択した番号に保存されたシーンが呼び出されます。

MEMO

- ・ ツールバーの  キーをタップして表示される画面からも、シーンの保存、呼び出しなどができます。また、シーン名を変更することもできます(→P.8 「シーン」)

MONITOR OUT A-Eのミックスバランスを調節する



1. ミックスバランスを調節したい出力先に対応する **A** ～ **E** のキーをタップする

選択した出力先のキーが点灯し、各チャンネルのフェーダー操作が可能になります。

2. 各チャンネルのフェーダーを上下にドラッグして音量を調節する

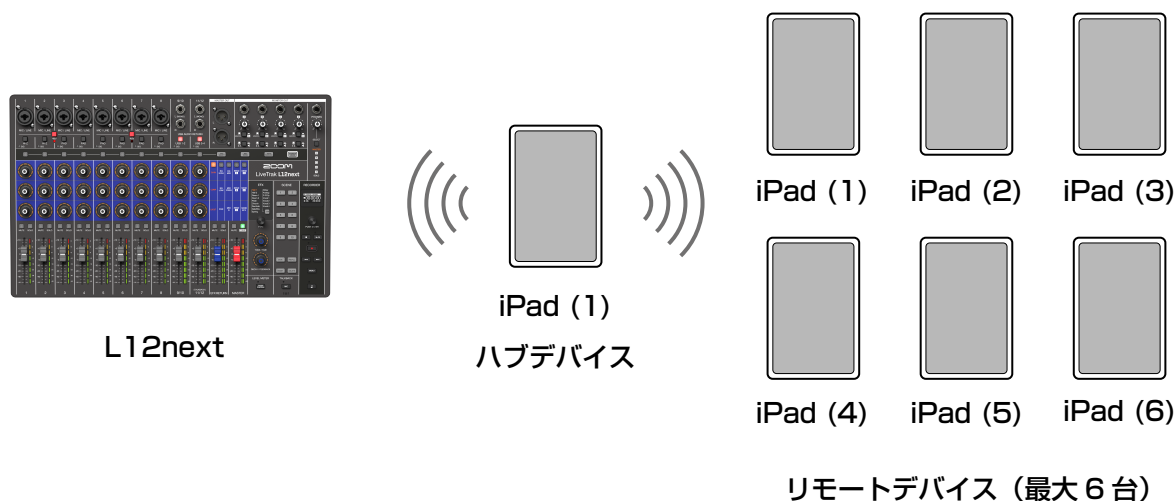


ミックスバランスをコピーする

1. ミックスバランスをコピーしたいキー **M**、**A** ～ **E** (コピー元)を長押しする
2. 点滅しているキー (コピー先)を押す
コピー元のミックスバランスが、コピー先へに反映されます。

複数のiPadからL12nextを操作する

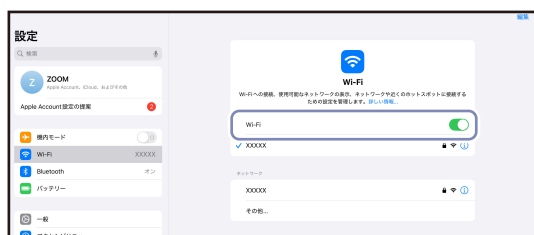
L12next Controlを使うと、同時に複数台のiPadをL12nextに接続し、操作することができます。1台目のiPadがハブデバイスとなり、2台目以降のiPad(リモートデバイス)とL12nextとの通信を中継します。リモートデバイスとして接続できるのは6台まで、合計最大7台のiPadから同時にL12nextを操作することができます。



MEMO

- ・ リモートデバイスからは、MONITOR OUT A-Eのみ操作することができます。
- ・ リモートデバイスで表示できるレベルメーターはプリフェーダーレベルのみにになります。

1. ハブデバイスとリモートデバイスで、Wi-Fi機能とBluetooth機能が有効になっているか確認する



MEMO

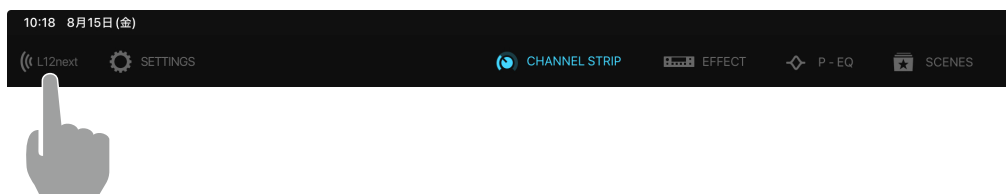
- ・ ハブデバイスとリモートデバイスは同一のWi-Fiアクセスポイントに接続されていない場合でも通信することができます。
- ・ ハブデバイスとリモートデバイスを同一のWi-Fiアクセスポイントに接続することで最大通信距離を延ばすことができます。最大通信距離は接続しているWi-Fiアクセスポイントの仕様に依存します。
- ・ リモートデバイスの通信が不安定な場合は、接続しているWi-Fiアクセスポイントに近づくことで改善することがあります。

2. ハブデバイスをL12nextに接続する(→P.5「L12nextとペアリング(接続)を行う」)

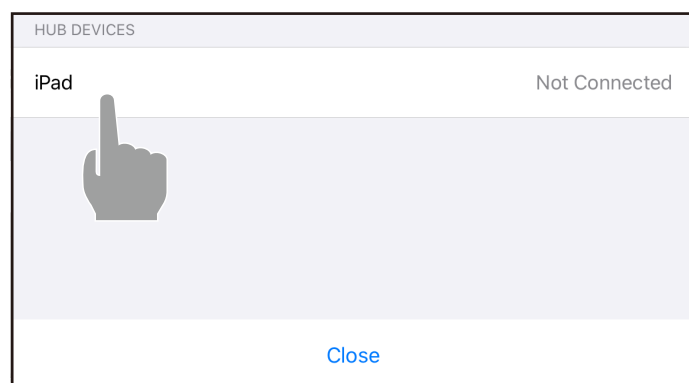
3. リモートデバイスでL12next Controlを起動する

リモートデバイス側に、接続可能なハブデバイスが表示されます。

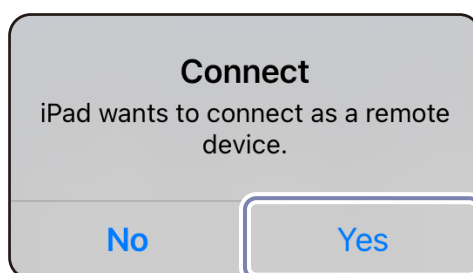
表示されない場合はツールバーの[L12next]をタップして表示してください。



4. リモートデバイスで「HUB DEVICES」の中にあるiPad名をタップして接続する



5. ハブデバイス側に、リモートデバイスからの接続要求を知らせるポップアップが表示されるので、[Yes]を選択して接続を許可する



接続が成功すると、ハブデバイスの画面右下に接続台数を示すアイコンが表示されます。



リモートデバイスでは、画面右下に[REMOTE MODE]と表示されます。





株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com

Z2I-5868-01